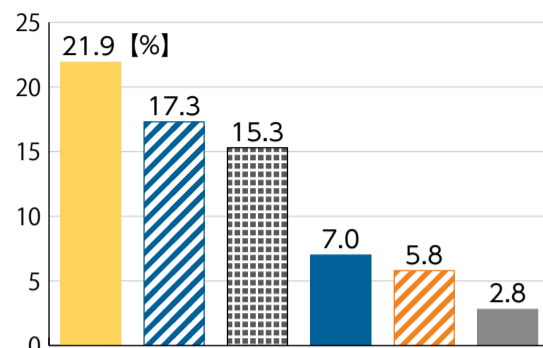


大人のための「こどもまんなか」入門



子ども・若者に聞いた、あなた自身が「守られていない」と思う権利



※「多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」で定めた6つの権利から最大3つを選択(回答は15～39歳の市内在住者)

- 意見を表明し、暮らしやすいまちの実現に向けて参画する権利
- 自らの意思で挑戦し、その挑戦を後押しされながら成長する権利
- 抱える困難に応じて必要な支援を受ける権利
- 育つ権利
- 守られる権利
- 生きる権利

▲「多摩市子ども・子育てに関する計画策定に係るニーズ調査報告書(令和6年3月)」より

子ども・若者の意見を受け止めていますか？

入門

こどもまんなか社会実現のために大人ができること 一人の人として尊重しよう



Point1

✓ 年齢で区別しない

- ・『子ども・若者』だから無理」と決めつけない
- ・興味や意見を、一人の人のものとして受け止める

例えば、こんな受け止め方

美術館に興味があるのね！
何か見たいものがあるの？



Point2

✓ 話を最後まで聞く

- ・最後まで聞くことで気持ちや考えの理解につながります
- ・「聞いてもらえた」という安心感が信頼につながります

例えば、こんな受け止め方

うん、何があったの？
お父さんに教えて！



Point3

✓ 大人の考えを押し付けない

- ・「こうした方がいい」と決めつけない
- ・自分で決めることが子ども・若者の自信につながります

例えば、こんな受け止め方

そうなのね！ どうして□□高校に行きたいと思ったの？

実際に子ども・若者と関わる時には...

3つのPointを意識した上で、**一人ひとりの個性や状況に応じて関わり方を工夫**すると、より良い関係性の構築につながります。

時には、**大人としての経験をもとに、**

子どもにとって適切な方向性を示すことも大切です。

子ども・若者の気持ちや意見を尊重し、理解しようと意識しながら、**「こどもまんなか社会」**を目指しましょう！

市でも、子どもみらい会議や地域でのワークショップ、市の説明会などのさまざまな場面で子ども・若者の意見や考えを聞いています。
このマークも、子ども・若者の投票で誕生しました。



私たちもできる
ことから始めて
みましょう！

